

令和4年度

まちの予算



第2期小西市政がスタート

市長公約と新たな施策を盛り込んだ「肉付け予算」を編成

当初予算は、4月に市長選挙を控えていたことから骨格予算としながらも、市政を停滞させず、最大限、市民への行政サービスの提供に対応するための予算としました。特に、「きめ細やかな子ども子育て支援」、「安心安全を守る非常備消防の充実」、「環境に配慮した省エネ推進」の分野に配分しました。

今回の肉付け予算は、現時点の財源状況を踏まえ、第2期小西市政のスタートとして、市長公約の実現に向けた取り組みをはじめ、「近江八幡市第1次総合計画」に掲げられた基本目標に沿い、脱炭素社会に向け事業を本格化し、感性を育む子ども支援など新たな事業を盛り込んだ政策(施策)展開を図るための予算としました。

肉付け予算額

3億1,502万1千円

詳しくは市ホームページで

肉付け予算の概要や今年度の各会計別の予算書は、市ホームページや市情報公開コーナー(本庁舎1階、総合支所1階)でもご覧いただけます。

問 財政課 TEL (36)5750・FAX (32)3237・HP 21381

健康ふれあい公園に スケートボードパークを整備

6,220万3千円(スポーツ推進課)



東京オリンピック2020で正式種目に採用され、国内でも競技人口拡大の気運が高まるスケートボード。初心者から上級者までが楽しめる専用パークを、健康ふれあい公園内に整備します。また、整備後は個々のレベルに合わせたスケートボード教室を開催します。

軽車両を改造した移動図書館車を導入

945万9千円(近江八幡図書館)



※写真は新潟県長岡市の軽車両改造型移動図書館車

令和3年度から移動図書館車が巡回し、子どもたちが絵本に触れる機会が増えました。段階的に市内すべての就学前施設へ巡回できるように、軽車両を改造した移動図書館車を導入し、さらなる読書普及に取り組みます。

環境・歴史・文化

各家庭での 太陽光発電設備の設置費用を補助

5,500万円(環境課)



2050年までにCO₂排出量を実質ゼロを目指す本市の各家庭での再生可能エネルギーの導入を促進するため、個人が市内に所有する住宅に、令和4年8月1日以降に契約する太陽光発電や蓄電池設備の設置費用を補助します。

産業・観光振興

体験型事業整備事業者への補助を実施

1,657万5千円
(商工労政課)



本市で新たに体験型施設や工房、ツアーを運営する事業者に対して補助を行います。また、地域資源を活用する事業者や、新たに創業を行う事業者には上乗せ補助を実施します。

肉付け予算

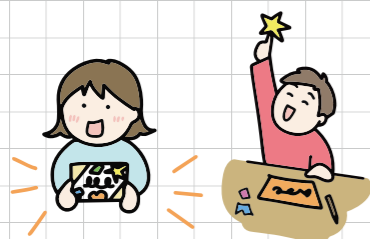
主な事業

「近江八幡市第1次総合計画」に掲げられた基本目標に沿った重要テーマごとに、主な事業をご紹介します。

教育・人づくり

子どもたちへ 生の文化芸術に触れる機会を創出

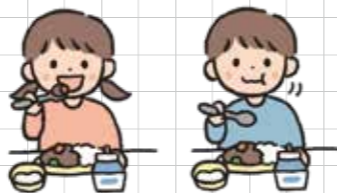
644万4千円(文化振興課)



子どもの感性を磨き、豊かな創造性を育む文化芸術を体験する機会を創出します。音楽、演劇、美術系のアーティストによる学校でのワークショップや、市文化会館での芸術鑑賞、改修中の文芸セミナリヨの外壁にアートを施すためのワークショップを開催します。

多子世帯の給食費の負担軽減を実施

4,200万円(無償化額)
300万円(補助金額、事務費)
(学校給食センター)



子育て世帯の経済的負担を軽減し、本市でより多くの子どもを育ててもらえるよう、18歳以下の子どもがいる世帯で、小・中学校に在籍する児童のうち第2子を半額に、第3子以降の給食費を無償化します。国・県立、特別支援学校、私立などの小・中学校児童は、給食費相当額を補助します。※いずれも10月分の給食費から実施

都市基盤整備

安土コミュニティエリア整備構想を策定

4,706万5千円
(安土教育施設等整備準備室)

安土町下豊浦地先で安土小学校、地域防災センター、コミュニティセンター、放課後児童クラブを一体的に整備するため、それぞれの施設の機能や規模を明らかにする安土コミュニティエリア整備構想を策定します。

協働・行政経営

新市庁舎整備工事の発注に向け事業を推進

290万4千円(R4予算額)
50億4,896万1千円(R5～R7債務負担行為額)
(市庁舎整備推進室)

基本設計が完了した新市庁舎整備工事は、デザインビルド(設計施工一括)での発注方式を採用し、総合評価技術審査会で技術提案などを評価したうえで事業者を選定、令和4年12月の契約締結を目指します。